令和８年度　　彦根東高等学校　学校評価

本年度の重点目標

【自立】幅広く深い教養や探究心を身につけ、自ら主体的に行動し人生を切り拓く力を育成します。
【協働】心豊かでグローバルな視点を持ち、多様な人々と共に持続可能な社会を実現する力を育成します。
【創造】自らの資質・能力を伸ばす挑戦を惜しまず、新しく価値のあるものを創る力を育成します。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校はスクール・ポリシーに基づき信頼される教育活動を行っている。	A		
	学校は特色ある教育活動を実施し、それらの情報を積極的に発信している。	A		
2　学習指導	学校は生徒が主体的に探究的な学びをすすめられるよう、教科指導力の向上に努めている。	A		
	学校は生徒の自学自習の態度を養成している。	A		
	学校はＩＣＴを活用した学習活動の充実を図っている。	A		
3　生徒指導	生徒は学校の規則に従い、身だしなみを整えている。	A		
	生徒は登下校時に交通の規則やマナーを遵守している。	A		
	学校は相手を思いやる態度を育てるとともに、いじめ等の早期発見・早期対応に努めている。	A		
4　進路指導	学校は生徒が自らの在り方・生き方を考え、将来の進路を選択できるよう支援している。	A		
	学校は早い段階からの計画的な進路指導により、生徒のチャレンジ精神を育てている。	A		
5　特別活動等	生徒は学園祭の取組をとおして高い文化レベルを追求するとともに達成感を得ている。	A		
	学校はすべての行事を通じて、生き生きとしたクラス・仲間づくりに努めている。	A		
	学校は部活動等で生徒が高い競技力や技術を身につけることができるよう指導に努めている。	A		
6　学校図書館	学校は図書の整備と充実に取り組んでいる。	A		
	学校は生徒の読書への興味・関心や意欲を高める啓発活動に取り組んでいる。	A		
7　保健・安全指導	学校は生徒の健康管理や事故・ケガ等に適切に対応している。	A		
	学校は教育相談等を通じて、生徒の心の相談にきめ細かく取り組んでいる。	A		
8　人権教育	学校は人権講座や統一ＬＨＲなどをとおして、生徒の人権意識を高めている。	A		
	教職員は人権教育に関する事業に積極的に参加し、人権意識の向上に努めている。	A		
9　環境教育	学校は授業や学校行事を通じて、生徒の環境問題に対する意識を高めている。	A		
	学校は日常掃除やごみの分別の徹底により生徒の美化意識を高めている。	A		
10　事務・管理	学校は省エネと資源の再利用に努めている。	A		
	教職員は保護者等の来校や電話に丁寧に応対している。	A		
11　その他 学校の取組	学校は国や県の指定校となり、生徒とともに海外交流や科学技術教育に取り組んでいる。	A		
	学校はＰＴＡ活動やメール配信などにより、保護者との連携を深めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.hikonehg-h.shiga-ec.ed.jp/